

沖縄の水産業多様化・水産資源管理を学ぶ研修を実施しています (~7/26)

課題別研修「島嶼国における水産業多様化と資源の持続的利用(A)」が6月12日に開始しました。今年度は、フィジー、モルディブ、ミクロネシア、パラオ、サモア、ソロモン、バヌアツから計7名の研修員が沖縄に来て学んでいます。本研修は水産業において、生産から消費まで、流通の一連の流れを、視察や実習を通して学び、自国の経済発展につなげるための研修です。沖縄の過去の経験をもとに、行政と海人が一緒になって海の資源を守っていく共同資源管理についても学びます。

7月7日からは、本研修でははじめて与那国島へ訪問し、離島における流通や加工の事例、離島ならではの課題への取り組みについて学びます。研修の最後には、沖縄で学んだ内容を自国に活かすためのアクションプランを発表します。本研修は有限会社琉球環境マネジメントサービスの協力を得て実施されております。

＜滞在中の主な日程＞ * 変更される場合がございますので取材については事前にご相談ください。

6月12日(月)	開講式
6月13日(月)~ 7月6日(木)	日本・沖縄の優良事例・教訓からの学び(講義・視察) ・沖縄、日本の行政施策・研究普及事業の講義 ・漁業組合と行政の連携 ・沿岸資源管理 ・水産物加工実習
7月7日(金)	与那国島へ移動、与那国漁業協同組合表敬訪問、パヤオ(浮き漁礁)作り
7月8(土)-9日(日)	水産業と観光業の連携(国際カジキ釣り大会の見学、運営視察)
7月10日(月)	農水商工連携、クルマエビ養殖現場視察
7月11日(火)	パヤオを利用した、カツオ/マグロ/カジキ釣り、鮮度保持のための実習
7月12日(水)	与那国→那覇へ
7月13日(木)	漁獲した魚を利用した一次処理/二次加工/調理 →(夕方)JICA沖縄での各国の魚料理のお披露目&試食会
7月18日(金)~ 7月25日(火)	沖縄の沿岸資源管理、養殖事業実証事業・関連プロジェクト視察 アクションプラン発表会
7月26日(水)	閉講式

取材・本件に関するお問い合わせ先

独立行政法人国際協力機構(JICA)沖縄センター 研修業務課 担当:松原 真穂
 TEL 098-876-6000 E-mail: Matsubara.Maho@jica.go.jp